

とまこまい市議会だよりアンケート調査集計結果

令和2年7月

とまこまい市議会だより編集委員会

調査の概要

1 調査対象

令和2年4月1日時点で18歳以上から90歳未満の苫小牧市民から無作為抽出した2,000人を対象としました。

2 調査方法

調査対象者へ調査票を郵送し、返信用封筒により回収しました。

3 調査時期

令和2年4月9日から令和2年5月31日まで

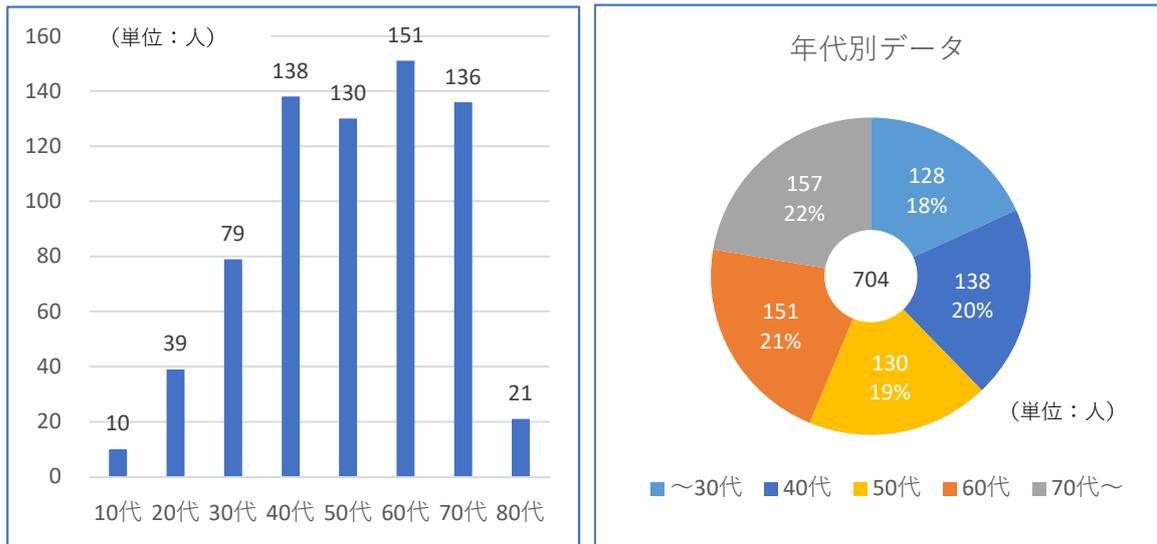
4 集計方法

調査票のうち、回答のない設問についてはその設問の集計から除外しました。年齢別による集計を行いました。

5 調査票回答結果

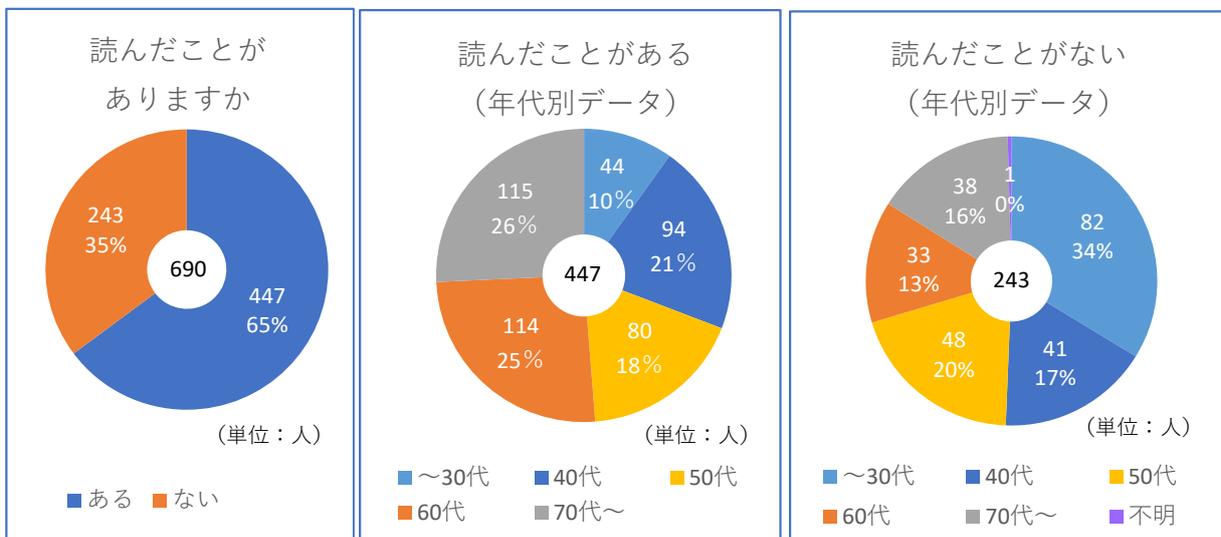
2,000人に調査を実施した結果、706人から回答（回収率約35%）があり、標本調査としての信頼度は約99%となりました。

問1 あなたの年齢をおたずねします。



問1の回答者数は704人で、「60代」が151人で最も多く、次いで「40代」「70代」と続きますが、30代以下を「～30代」、70代以上を「70代～」に集約すると、全ての世代で18～22%となり、年代ごとの大きな差はありませんでした。

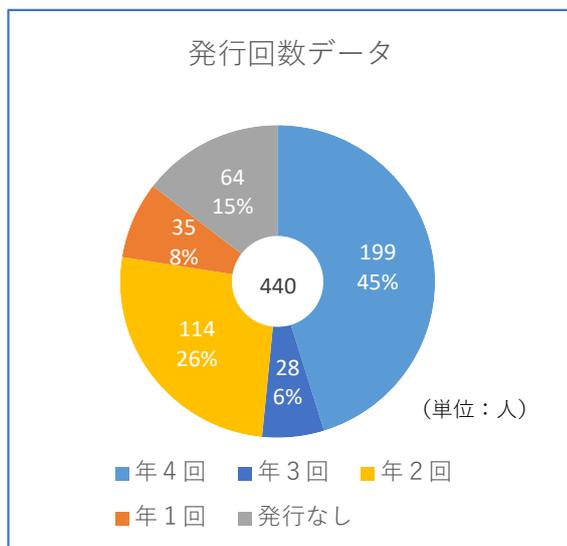
問2 「市議会だより」を読んだことがありますか。



問2の回答者数は690人で、読んだことがある人は447人(65%)、読んだことがない人は243人(35%)となっています。また、読んだことがあると回答した人を年代別に見ると「70代～」が115人(26%)、「60代」が114人(25%)である一方、「～30代」が44人(10%)と最少となっています。さらに、読んだことがないと回答した人を年代別に見ると「～30代」が82人(34%)と最も多くなっています。

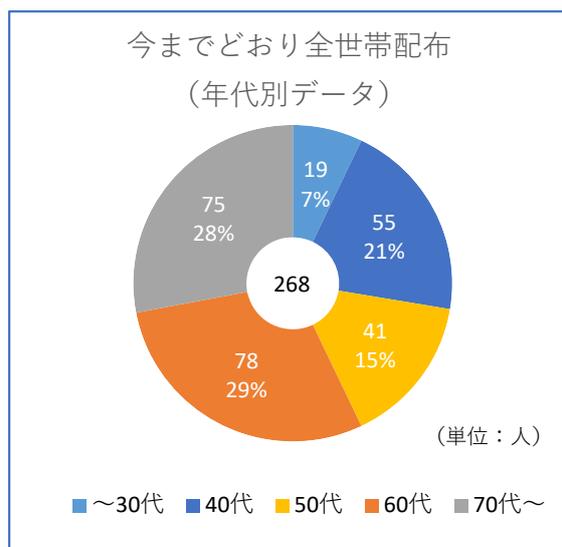
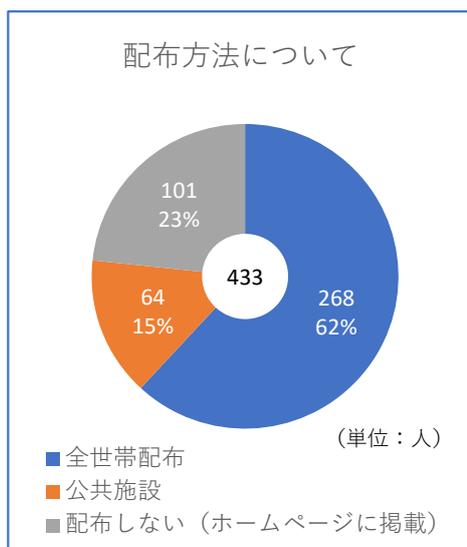
問3 問2で「①読んだことがある」と回答された方におたずねします。

(1) 発行回数ほどのぐらいが良いと思いますか。



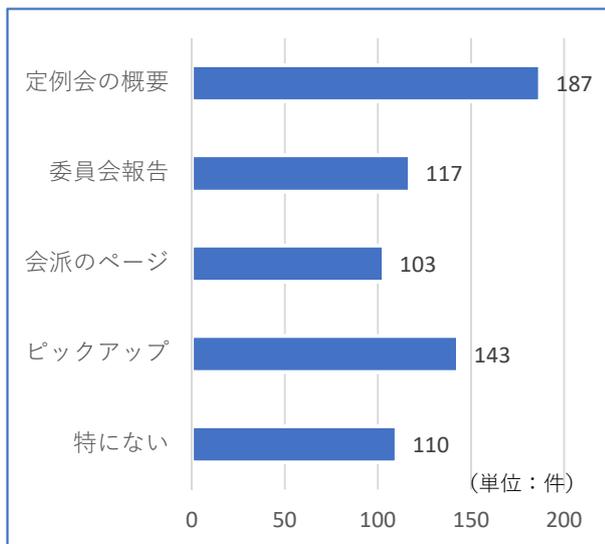
(1) の回答者数は440人で、今までどおり年4回の発行回数が199人(45%)で最も多く、次いで年2回が114人(26%)となっています。また、発行しなくても良いと回答したのは64人(15%)となっています。

(2) 配布方法についてどう思いますか。



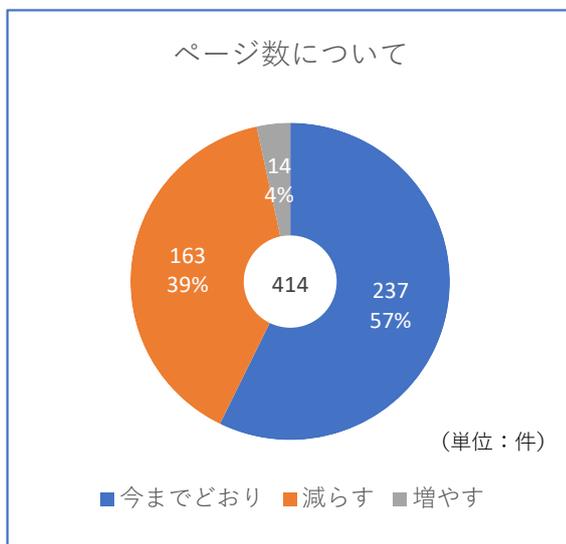
(2) の回答者数は433人で、「今までどおり全世帯配布」が268人(62%)で最も多くなっています。また、全世帯配布と回答した人のうち「60代」が78人(29%)、「70代~」が75人(28%)と多くなっています。一方で「~30代」では19人(7%)と最も少なくなっています。

(3) 関心のある紙面はどの部分ですか。(複数選択可)



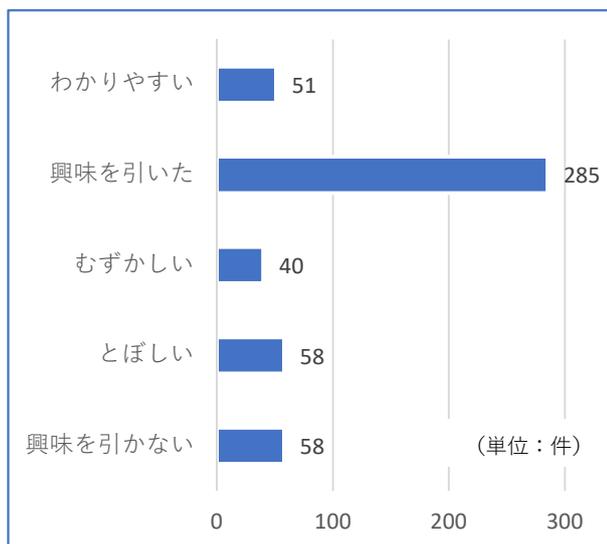
(3) の回答数は660件で、「定例会の概要」が187件で最も多く、次いで「ピックアップ」が143件となっています。一方で「会派のページ」が103件で最も少なくなっています。

(4) ページ数についておたずねします。



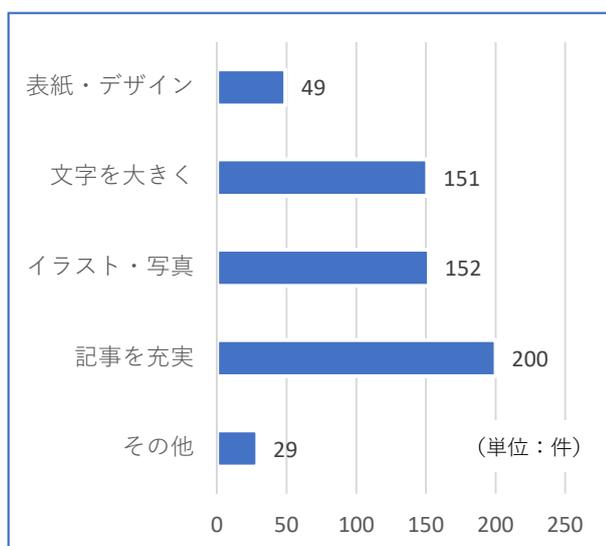
(4) の回答数は414件で、「今までどおり12ページ」が237件(57%)で最も多く、次いで「減らす」が163件(39%)となっています。

(5) 読んだ印象についてお聞かせ下さい。(複数選択可)



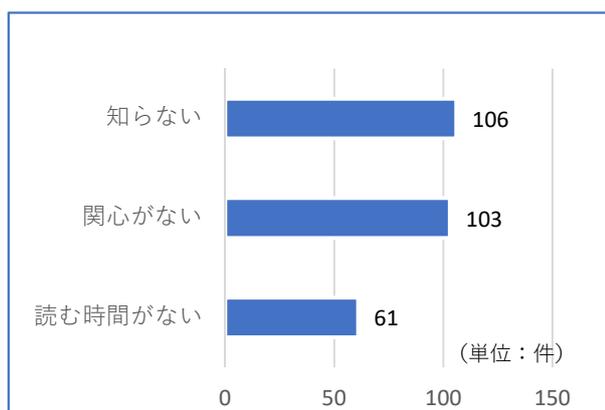
(5) の回答数は492件で、「内容によっては興味を引いた」が285件で最も多く、大半を占めています。

(6) 「市議会だより」を読みやすくするには、どのような工夫が必要だと思いますか。(複数選択可)



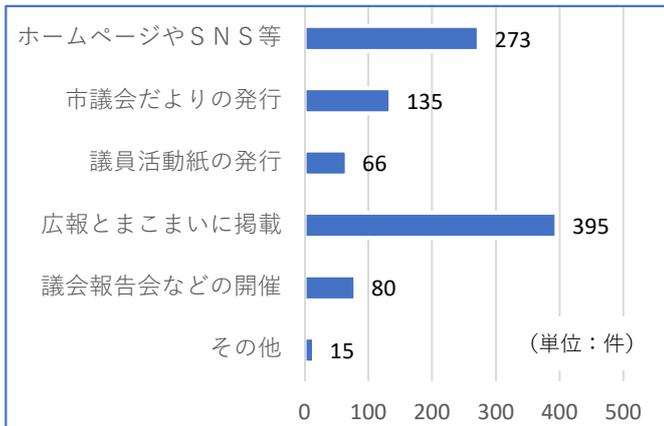
(6) の回答数は581件で、「記事を充実」が200件で最も多く、次いで「イラスト・写真を多く取り入れる」が152件、「文字を大きく」が151件となっています。

問4 問2で「②読んだことがない」と回答された方におたずねします。読んだことがない理由は何ですか。(複数選択可)

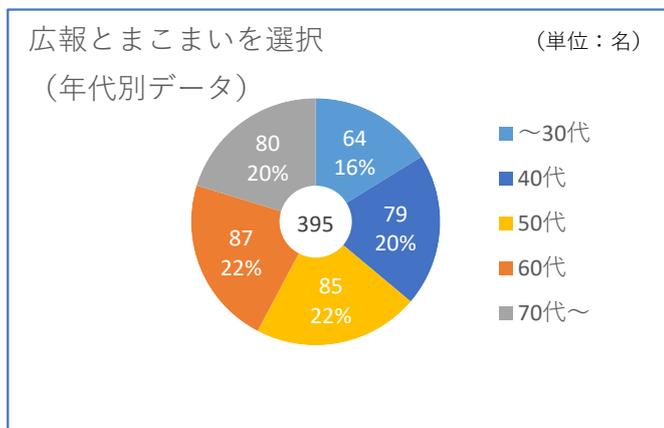


問2で読んだことがないと回答した243人から270件の回答がありました。「市議会だよりを知らない」が106件で最も多く、次いで「議会に関心がない」が103件となっています。

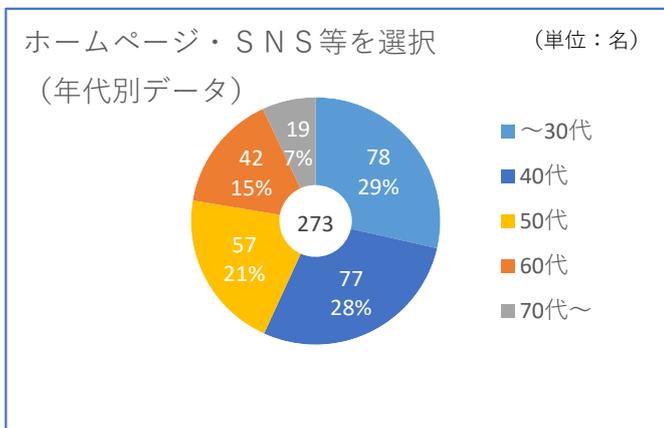
問5 市議会の役割や取り組みを伝える方法についておたずねします。適していると思われる方法はどれですか。（複数選択可）



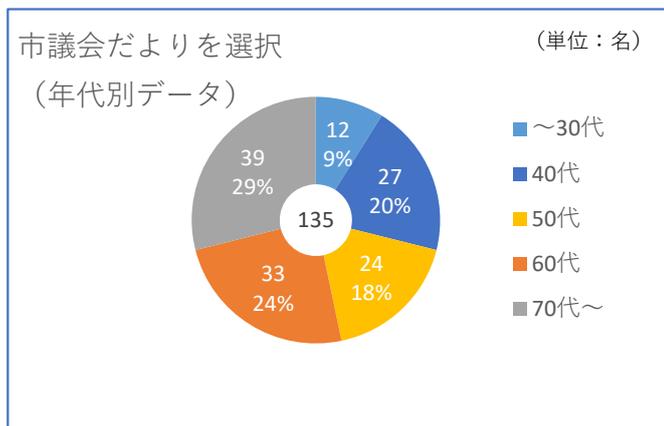
問5の回答者数は606人で964件の回答がありました。「広報とまこまいに掲載」が395件で最も多く、次いで「ホームページやSNS等」が273件、「市議会だより」が135件となっています。



「広報とまこまい」を選択した395人を年代別に見ると「60代」が87人（22%）と最も多くなりましたが、年代ごとの大きな差はありませんでした。



「ホームページ・SNS等」を選択した273人を年代別に見ると「～30代」が78人（29%）で最も多く、次いで「40代」が77人（28%）となっており、「70代～」では19人（7%）と最も少なくなっています。



「市議会だより」を選択した135人を年代別に見ると「70代～」が39人（29%）で最も多く、次いで「60代」が33人（24%）となっており、「～30代」では12人（9%）と最も少なくなっています。

自由記載

問3 (6) 「市議会だより」を読みやすくするには、どのような工夫が必要だと思いますか。(複数選択可) 【自由記載のあったもの】

読みやすく・わかりやすくしてほしい

- ・ 簡素な文(短くてよい)で、Q & A方式のみで十分。
- ・ 会派ごとの書き方も良いが、できたら統一していただいたら読みやすいのでは。
- ・ 質問と回答をコンパクトにして読みやすくしたほうがよいのでは。 など

詳しく書いてほしい

- ・ それぞれの会派の議員各自が普段どのような活動をしているのかももう少し知りたい。
- ・ 市民が求めていることについて、議会、委員会でのやりとり等を深く詳しく書いてほしい。 など

興味・関心を引く内容にしてほしい

- ・ 簡単で市民の興味を引くように工夫し、子ども向けくらいのレベルでよく、いかに多くの市民に読んでもらえるか、議会の存在を広く知ってもらったほうがよいと思う。
- ・ 良い事柄も悪い事柄もお金に関する記事は誰もが興味・関心があるため、数字を大々的に載せることで人が目にする機会が増えるのではないかと思う。 など

自由記載

問5 市議会の役割や取り組みを伝える方法についておたずねします。適していると思われる方法はどれですか。（複数選択可）【自由記載のあったもの】

広報とまこまい・新聞、雑誌などの紙面に掲載

- ・ 広報とまこまいは必ず見るので、広報と一緒に掲載することで、手間も配付も減る。
- ・ 新聞に活動内容を載せる。 など

意見交換会など直接的な伝達

- ・ 困っているところ、変えてほしいところ等、小さなことでも積極的に聞ける、意見が言える場面を増やす。
- ・ 年に1回意見交換会を行う。
- ・ 個人・会派の報告会をすべきである。 など

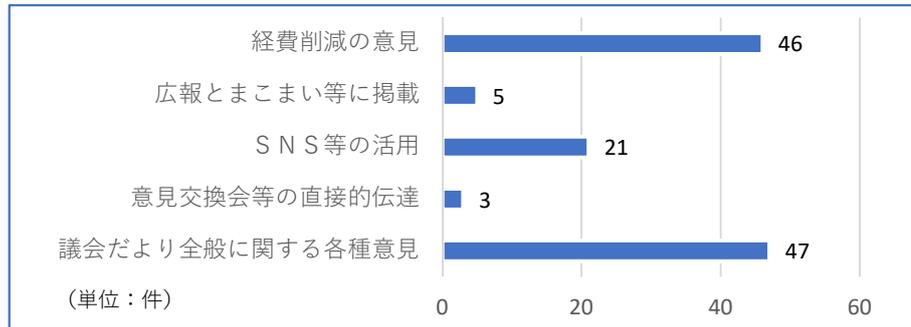
ケーブルテレビ・SNS等の電子媒体の活用

- ・ 苫小牧ケーブルテレビやLINE等の利用。
- ・ 身近で簡単に触れられる方法のSNSのダイレクトメール、町内会、イベントの活用。 など

企業の掲示板・口コミなど

- ・ スーパーなどの掲示板を利用。
- ・ 各福祉企業との連携を密にし、口コミ、宣伝の向上を行う。 など

意見・要望（意見・要望の記載199件、うち市議会だよりに関する意見122件）



経費削減の意見

- ・ 予算額をかけているわりには見ていない人のほうが多いかもしれないので、もう少し工夫があるといいと思う。
- ・ 全世帯に4回発行している金額の高さにびっくりであり、ほとんどの方がスルーかと思う。また、今回コロナで大変であり、回数を減らしてその分をそちらへ充てたり無駄なことは減らし大事なことに使ってほしい。
- ・ 現状、新型コロナウイルス感染症の対応で、国、道、市とも大変なので少しでも費用を減らし、もっと違うことに使うべきで、1千万円の価値があるのか考えるべきであり、市民はそんなに市議会だよりに興味はないと思う。
- ・ 働き方改革も含め、市議会だよりを発行するより他の部分への予算配分等が必要であり、長年の慣習を壊す勇気も大切だと思う。
- ・ 市議会だよりにこんなにお金が使われているのにびっくりであり、市議会議員のSNSで良いのではないか。SNSを見られない方のためには広報とまこまいで十分ではないかと思う。
- ・ 字が読めなくなってきたので、ケーブルテレビで議会を見ていてそれで十分で、画面で見るのでわかりやすい。また、年4回の発行は税金の無駄であり、違うほうに税金を回してほしい。
- ・ 今までと同様だとチラシと同じような感じのため、広報とまこまいと一緒に配布するとよいのではないか。市議会に興味のない市民は見ていないと思うので配布費用を抑えるなら公共施設などに置くようにしてはどうか。 など

広報とまこまい等に掲載

- ・ 市議会だよりは時間があれば目を通しているが、広報とまこまいと一緒にすると読みやすい。需要がある世帯には詳しいことについてはホームページやSNSで発行を希望すればよく、ホームページやSNSが使えないという意見があるかと思うが、市議会だよりの金額は庶民的に高い気がする。 など

S N S等の活用

- ・ 市議会議員の方は、関心のない私たちにわかりやすくすることも大切であり、S N Sなどを使って新しいやり方もありかと思う。昔ながらのやり方とも使い分けをして予算を使わずにお願いしたい。
- ・ ホームページが充実すると、若い方にも興味を持ってもらえると思う。
- ・ 印刷したり、配布したりすることは必要ではなく、ホームページ等で市民がいつでも見られるようになっていけば良いと思う。
- ・ 紙の時代ではなく、電子媒体で十分で、内容の問題である。
- ・ 市議会の取り組みやその結果報告等、もっと手軽にわかりやすく知ることができたら良いため、S N S等充実すると良い。また、意見や質問も手軽にできたら市民も参加している感じがすると思う。 など

意見交換会等の直接的伝達

- ・ ペーパーレスにして直接市民の声を聞く機会をつくったらいと思う。
- ・ 市民との意見交換会は特に大事だと思う。 など

議会だより全般に関する各種意見

- ・ 活動していることが、実感として伝わりがうすい。
- ・ 毎号、重複した内容が多く感じ、目新しさが無いと読んでいて飽きる。
- ・ 課題は多種多様あると思うが、議会として今年は何を重点として進めていくのかランクづけをして市民に示すよう（各会派いろいろであるが）あれもこれもでは毎年続いて何が解決・改善したのかわからなくなるのではないか。
- ・ 市の行政に対して各会派の考えの違いがあれば、わかりやすく市議会だよりに取り上げてほしい。
- ・ 各会派の活動方針をもっと充実してほしい。
- ・ 各会派の色が見えなく、どれも同じに見えて特に注目したことがないので、会派としてあるなら、もっと強調発信してほしい。
- ・ 議員一人一人が、議会でのどのような発信をし、提案をし、活動をされているのかを知るために、市議会だよりは必要であり、ある議員さんはこまめに議会報告をして市民の意見を聞き、議会に提案をしている。他の議員の活動はわからない。
- ・ 各議員が何をしているか具体的に市民に知らせるべきであり、市民の関心のあることをぜひやってほしい。
- ・ パソコン・S N Sは使えないので、今までどおりか、広報とまこまい等でなければ議会内容は知ることができない。
- ・ 市議会だよりは関心がないので読んだことがない。広報とまこまいは市民にとって役に立つ記事が書かれているので毎月読んでいる。市民が関心を持てるような内容が書かれていたり、広報とまこまいと一緒に読む機会が増えると思う。また、市民にとって大切なことであればもっと市議会だよりとは何なのかを周知してもらいたい。 など